

ヘモグロビン・エイワン シー

現在 HbA1c の表記には NGSP 値が使われています。

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、過去1~2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われます。

これまでは、国際的に広く使用されている HbA1c(NGSP)と、日本でこれまで使用されてきた HbA1c(JDS)が併記されてきましたが、今後は日本でも、HbA1c(NGSP)に統一されます。

HbA1cのNGSP値は
これまでの表記(JDS値)から、

およそ **0.4%**
高くなります。

以前のHbA1cの数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。

新しいHbA1c (NGSP)値が **6.5%** 以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。

